

2016 年 4 月 15 日
NEC ネットズエスアイ株式会社

NEC ネットズエスアイ 新入社員による東北復興支援活動（5 年目）を実施
～被災地を忘れず、新入社員の社会貢献意識を醸成～



漁港でのワカメ加工作業の様子



花見山での散策路づくりの様子

NEC ネットズエスアイ株式会社（本社：東京都文京区 代表取締役執行役員社長：和田雅夫 東証 1973、NESIC）は、2016 年 4 月 6 日～8 日に、宮城県本吉郡南三陸町および岩手県陸前高田市において、本年入社のグループ新入社員 130 名による東北復興支援活動を実施しました。

本活動は、東日本大震災の翌年の 2012 年から実施しているもので、東北の復興の一助として活動するとともに、公共インフラを手掛ける企業として新入社員の社会貢献意識を醸成することを目的としており、今回が 5 年目の実施となりました。

本活動については、当初は、被災地のガレキ処理から始めましたが、その後、草取りなどの環境整備活動や復興に関するディスカッションなど、被災地の現状を踏まえながら活動を発展させてきました。今回は、地場の観光や水産業など、地元の産業復興につながる活動を中心に実施しました。

新入社員は、東北の景勝地として多くの観光客を集める南三陸町の神割崎キャンプ場において、全員で施設の清掃・整備作業を行いました。その後 4 つのチームに分かれ、同町において観光地化を目指す花見山の遊歩道の整備や植樹、漁業生産組合の牡蠣殻異物除去やワカメ加工、漁港でのいかだ用の砂袋作りやホタテ貝のヒモ通し作業、波伝谷地区の畑用地の整地を支援しました。活動を行った新入社員からは「重いものを運ぶなどの危険が伴う作業をする場合にはお互いに声を掛け合うことが大切だと学んだ」、「一人ではできないことも、チームで協力すれば一緒に乗り切ることができることを学んだ」といった声があがるなど、一様に活動の重要性を認識しておりました。

このような支援活動のほか、佐藤仁南三陸町長や、被災後に会社再建を実現させた老舗しょうゆ店八木澤商店の河野通洋社長から講話をいただき、語り部の方の説明を受けながら被災地を回るなどして現地の現状を理解するとともに、それを踏まえて企業（人）として大規模災害に対し何をすべきかなどをテーマとして新入社員同士が議論を交わしました。「情報サービスを提供している会社として、正しい情報がより早く被災地に届けられるような支援をしたい」、「コミュニケーションシステムインテグレーターとして、被災地の現状を発信する支援で風化を防いでいきたい」などの積極的な意見が出されました。

NESIC は、「できることから少しずつ」を合言葉に、青少年育成、環境、災害支援、地域貢献などの社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。被災地支援活動においても、この合言葉のもと、「ひまわりハウス」（注 1）の設置・運営に加え、本社ビルにおける東北地方物産展の開催や、被災地小学校における「南極くらぶ」（注 2）の実施などを行ってまいりました。また、NECグループの進める東北復興支援活動「NEC “TOMONI”プロジェクト（注 3）」にも積極参加し、国内各地に勤務する社員がボランティア活動を行ってまいりました。今回の活動を通じ、社員が継続的に社会貢献活動に参加し続ける土壌作りを進めてまいります。

以 上

（注1） ひまわりハウス <http://www.nesic.co.jp/himawari/index.html>

NESICが2012年11月1日に、岩手県陸前高田市とその周辺地域に新たな事業を興し、復興促進の手助けをすることを目的に同市に開設したログハウス。同地域の復興や復興を目指す多様な人たちが知識や技術を共有し合い、新しいアイデアやビジネスを創造できるコワーキング・スペースとして活用されている。情報や意見交換などの活発なコミュニケーションを支援するために、ブロードバンド回線や、パソコン、スマートタブレットなどの各種端末の利用が可能。また、テレビ会議用の大型ディスプレイや、超短焦点プロジェクターを搭載したインタラクティブホワイトボードなども用意している。

（注2） 南極くらぶ

NESICの越冬隊経験者が1年間の南極生活で得たさまざまな体験をもとに行う、南極の天候・動物等の自然科学や生活などについての出張授業。「砕氷艦しらせ」の英姿や、オーロラ・動物・気候などの自然、越冬隊の生活などを動画を交えて紹介するだけでなく、南極の氷や隊員の防寒服にも直接触れてもらい、楽しみながら南極について知っていただく機会としている。

（注3） NEC “TOMONI”プロジェクト <http://jpn.nec.com/community/ja/disaster/index.html>

NECグループの被災地支援活動。社員が実際に被災地へ行ってボランティア活動をおこなう社員参加型の活動を中心に展開している。今回の新入社員によるボランティア活動も、「NEC “TOMONI”プロジェクト」事務局の協力を得ている。

明日のコミュニケーションをデザインする

NEC ネットエスアイは、
お客様の目線に立ったこれからのコミュニケーションをデザインする会社として
お客様の価値向上に取り組んでまいります。